

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターつくしんぼ		
○保護者評価実施期間	R7年12月 ～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	7年 12月 ～		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R7年12月 ～		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人ひとりのご利用者様に合った支援計画とその内容に基づいた支援の実行ができています。	・子ども一人ひとりの行動観察からアセスメントをし、活動を実施している。 ・専門職(ST・PT等)のアドバイスを受けながら実施しPDCAサイクルに基づき行っている。	・支援計画の充実と、園や家庭に汎化できる内容を考え、実行できる各スタッフのスキルアップに取り組んでいく。
2	・訪問先の保育士の皆さんが日頃、疑問に対して親身に対応し、悩みや不安を解消できるサポートを行っている。	・訪問先の保育士や関係者とコミュニケーションを取り、連携を図りながら、子どもにとって最適な支援を提供できるように心がけている。 ・定期訪問だけでなく、行事を参観することで児の成長を共有することができている。 ・在籍園だけでなく関係機関と連携し、児の状況を共有している	・訪問先の保育所と密に連携し、子ども一人ひとりのニーズに合わせた支援計画を作成し活動の取り入れていく。
3	・保護者に対してモニタリング以外にも面談を行い、子育てに関する悩みや不安を解消できるようにサポートを行っている。	・保護者の状況等を鑑みた子育てのアドバイスをしている。 ・保護者から家庭の状況を詳しく聞き取りを行っている。	・様々な状況のお子さん、保護者が利用されるため職員のスキルアップが求められている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業との兼務のため、希望があった場合に迅速な対応が難しい。	・限られた人員のため(他事業との兼務のため)、事業利用希望者への人数制限がある。	・日々の業務内容を見直し、各スタッフの業務負担を精査、軽減し、事業運営のための人員を確保する
2			
3			